

令和6年度事業報告書

令和6年度 事業報告

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

公益財団法人への移行後11年目となる令和6年度においても、定款第3条に定める「産業廃棄物の処理に関する事業を行い、地域社会の健全な発展と地球環境保全、自然環境保護に寄与すること」を目的として、以下の事業を実施した。

1 廃棄物の埋立て処分の実施 [公益目的事業]

県内で発生する廃棄物のうち、管理型最終処分場で埋立てしなければならない産業廃棄物及び旧仁淀川中央清掃事務組合の構成町村（いの町・日高村）の一般廃棄物の焼却残渣について、それぞれの排出事業者から処理の委託を受けて、最終処分場内に適正に埋立て処分を行った。

令和6年度 産業廃棄物及び一般廃棄物の処理実績

受入品目	税込み料金 (円/トン)	数量(トン)		金額(千円)	〔参考〕 累計数量(トン) H23/10~R7/3末
		計画(年間)	実績(3月末)		
燃え殻	16,500	2,800	2,699	44,528	37,532
ばいじん	16,500	300	266	4,383	4,465
鉱さい	9,900	3,500	3,433	33,983	66,275
汚泥 (無機性)	27,500	200	220	6,058	3,236
汚泥 (石綿含有)	33,000	10	18	608	35
廃石綿等	33,000	50	101	3,343	981
廃石膏ボード	13,200	10	12	158	22,925
建設混合廃棄物	22,000	30	11	233	1,310
小計	—	6,900	6,760	93,294	136,759
一廃(燃え殻)	6,600	550	677	4,467	12,026
合計	—	7,450	7,436	97,761	148,785

注：端数処理のため、品目ごとの料金と実績の積及び合計額欄は合致しない。

2 医療廃棄物の破碎・滅菌処理（中間処理）の実施〔収益事業〕

県内の医療機関等から排出される感染性廃棄物及び非感染性廃棄物について、排出事業者から処理の委託を受けて、破碎処理及びマイクロウェーブ滅菌処理装置による滅菌処理（中間処理）を行った。

中間処理後の医療廃棄物については、民間の焼却施設に焼却処理を委託し、その燃え殻を公益目的事業の埋立て処分として受け入れた。

令和6年度 医療廃棄物の処理実績

受入品目	税込み料金 (円/ℓ)	数量 (kℓ)		金額(千円)
		計画(年間)	実績(3月末)	
感 染 性	29	5,100	5,387	156,214
非 感 染 性	27	600	531	14,345
合計	—	5,700	5,918	170,559

注：端数処理のため、品目ごとの料金と実績の積及び合計額欄は合致しない。

(参考：過去5カ年の処理実績の推移)

年度	数 量			金額(千円)
	感染性 (kℓ)	非感染性 (kℓ)	合計 (kℓ)	
1	4,857	839	5,696	163,501
2	4,827	667	5,494	158,005
3	5,147	703	5,851	168,262
4	5,984	683	6,667	191,996
5	5,413	641	6,054	174,297

3 新処分場の供用開始までの応急措置の実施

新処分場の供用開始時期（令和9年9月頃を予定）までの間、エコサイクルセンターの埋立容量を許可を要しない軽微な変更となる10%未満の範囲で増大させ、エコサイクルセンターでの産業廃棄物の受入を継続して行う応急的な措置を講じた。（産業廃棄物処理施設軽微変更等届出書等の提出）

4 環境保全活動の実施

令和6年5月17日に地元の能津小学校の児童を対象に、授業の一環として環境学習会を実施した。

また、令和6年6月24日に同小学校付近の仁淀川において、仁淀川漁業協同組合の協力を得て、同校の児童によるアユの稚魚の放流を行い、郷土の自然を愛しむ心を育むきっかけとした。

5 環境測定等の実施

(1) 水環境等の測定

水環境の確認のために、モニタリング井戸、地下水集排水管出口、浸出水処理施設入口及び仁淀川で採水し、地下水や浸出水等の水質検査を行った。

また、大気環境の確認のために粉じんの測定を行った。加えて、木質バイオマス燃焼灰の受入に伴い、処分場内外に定点を定め、空間線量率の測定を行った。

(2) 測定の結果等

埋め立てた廃棄物に散水した水（浸出水）は、水処理施設で処理を行った後に処分場内で再び散水（再利用）しており、処分場外には放流していない。

令和4年度にカドミウムの測定値が基準値（環境省）を上回る結果となったことから、令和5年4月から毎月の検査項目にカドミウムを追加した。

令和7年4月の測定値は国の廃止基準を若干上回っているものの、処理後の数値は廃止基準値以下で推移している。

なお、測定結果については当財団のホームページで情報を公開するとともに、「環境保全協定書（平成19年8月20日付けで日高村と締結）」に基づき実施している「環境保全連絡協議会」を令和7年3月21日に開催し、報告した。

(3) 廃棄物の簡易検査等

蛍光X線分析装置を用いて、搬入される廃棄物に含まれる金属等の含有量を簡易に測定、測定結果を考慮のうえ、法令で定められた基準等の適合性について溶出試験を実施するなど、搬入される廃棄物のチェック体制を強化した。

6 処理料金の改定

設備等の老朽化や資材の高騰などにより、今後は厳しい経営が見込まれることから、令和7年1月23日の第24回臨時理事会において、貴重な収益源の医療廃棄物の処理事業をエコサイクルセンターでの産業廃棄物処理事業を廃止するまで継続することと、エコサイクルセンターの処理料金を令和7年4月1日から値上げすることについて、承認をいただいた。

7 新たな施設の整備に向けた取り組み

最終処分場の建設工事等を進めるため、設計の変更及び整備スケジュールの見直し等を行いながら、令和9年9月頃の供用開始を目指して、以下の取り組みを進めた。

(1) 建設工事の円滑な推進

ア 最終処分場整備工事（エコ高知（佐川）第7号）

施設の安全性を十分に確保するために、南側斜面の追加安全対策等を行い、工事中の安全対策及び環境保全対策等にも留意しながら、整備スケジュールに沿って工事の進捗を図った。

- ・契約の相手方：大林・ミタニ・福留・クボタ環境特定建設工事共同企業体
- ・工事期間：R4.8.30～R9.8.31（変更前：～R9.4.30）
- ・工事請負費：9,002,851千円（R7.2.25に606,287千円の増額変更契約を締結）
- ・R7.2.25の変更設計の主な内容：南側斜面追加安全対策

内訳：掘削量増（脆弱層）	216百万円、	セメント改良土置換	414百万円、
斜面表面部緑化	139百万円、	防砂調整池コンクリート減	△193千円等
- ・R7.3月末出来高：32.5%

単位：千円

		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	計
変更後 支払予定額		410,900 (4.6%)	826,674 (9.2%)	738,000 (8.2%)	2,097,101 (23.3%)	1,625,464 (18.0%)	3,304,712 (36.7%)	9,002,851
予定 出来 高	変更後	456,556 (5.1%)	918,527 (10.2%)	820,000 (9.1%)	2,330,113 (25.9%)	1,806,072 (20.0%)	2,671,583 (29.7%)	9,002,851
	変更前	456,556 (5.4%)	918,527 (10.9%)	1,836,471 (21.9%)	1,852,454 (22.1%)	3,322,556 (39.6%)	10,000 (0.1%)	8,396,564

イ 進入道路整備工事（エコ高知（佐川）第8号）

- ・契約の相手方：四国開発・大谷興産・吉永土建特定建設工事共同企業体
- ・工事期間：R4.10.6～R8.10.31
- ・工事請負費：618,607千円（R7.2.25に42,900千円の増額変更契約を締結）
- ・R7.2.25の変更設計の主な内容：道路路床部・補強土壁内盛土の置換
- ・R7.3月末出来高：39.2%

単位：千円

		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	計
変更後 支払予定額		81,000 (13.1%)	9,000 (1.5%)	105,787 (17.1%)	156,952 (25.4%)	265,868 (42.9%)	618,607
予定 出来 高	変更後	90,000 (14.6%)	10,000 (1.6%)	117,542 (19.0%)	174,392 (28.2%)	226,673 (36.6%)	618,607
	変更前	90,000 (15.6%)	10,000 (1.8%)	117,542 (20.4%)	174,392 (30.3%)	183,773 (31.9%)	575,707

ウ 工事に係る施工監理委託業務等

単位：千円

業務番号	発注業務の内容	委託業者	業務の期間 (変更前)	契約金額 (変更前)
エコ (佐川)10	処分場の整備工事に係る施工監理（土木工事を除く） （追加変更） 南側斜面对策の追加設計 本体工事工期延長	八千代エンジニアリング(株)	R4.9.22 ～ R9.8.31 (R9.4.30)	214,940 (194,788)
エコ (佐川)11	処分場の管理・運営マニュアルの作成	日本工営(株)	R5.2.17 ～ R9.8.31 (R9.4.30)	21,582
エコ (佐川)13	処分場及び進入道路の土木工事に係る施工監理（R6）	(公社)高知県建設技術公社	R6.3.26 ～ R7.3.31	8,987
エコ (佐川)14	進入道路の函渠工の修正設計	(株)四電技術コンサルタント	R6.11.15 ～ R7.3.17	1,815

エ エコサイクルセンターの埋立容量の変更届出

当該センターが県内唯一の管理型産業廃棄物最終処分場として本県産業を下支えしている中、新処分場の整備スケジュールに遅れが生じたことから、排出事業者等への影響を最小限に抑えるために、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第12条の8に基づき、当センターの埋立容量を10%未満で増大する旨の届出書を県に提出した。

オ 施設整備専門委員会の開催

令和6年11月22日に第6回新たな管理型最終処分場施設整備専門委員会を開催し、南側斜面の安全対策をはじめ、追加対策工事の整備内容等について、学識経験者から意見を聴取した。

(2) 住民への丁寧な説明

ア 住民説明会の開催等

佐川町加茂地区（令和7年1月31日、2月1日）及び土佐市谷地地区（令和7年2月9日）において開催し、南側斜面の安全対策をはじめとする追加対策や工事の進捗状況、工事スケジュール、環境保全対策等について説明した。

（住民の出席者数：佐川町加茂 2日の合計で16名、土佐市谷地 8名）

また、引き続き、毎月、佐川町の広報誌配布に併せて、処分場の整備状況を周知するための「お知らせ」チラシを配布した。

イ 環境保全等連絡協議会の開催

令和7年3月23日に第7回連絡協議会を開催し、工事の進捗状況等の説明や工事中の環境モニタリングの結果等を報告し、意見交換を行った。

ウ 環境モニタリングの実施

前年度に引き続き、環境保全協定書に基づき、建設工事期間中の水質や粉じんなどの環境モニタリングを行い、その結果を住民に公表した。

(3) 管理・運営マニュアルの作成

廃棄物の搬入や埋立作業等を適正かつ安全に行い、最終処分場の機能を最大限に発揮させるため、施設の維持管理方法や防災対策などの具体的な措置を定める「管理・運営マニュアル」を業務委託において作成中。

また、エコサイクルセンターの埋設容量を10%増大させた場合の安全性等を確認するための耐荷重等の解析について、十分耐えられるとの解析結果を得た。

(4) 新たな施設における受入料金の検討

新たな施設における受入料金の検討にあたり、他県の類似施設の運営に係る実態調査を行うとともに、エコサイクルセンターの料金改定における排出事業者訪問へ同行し、意見交換等を行った。

II 評議員会・理事会の開催状況

1 評議員会

(1) 第12回定時評議員会〔令和6年6月17日〕

第1号議案 令和5年度事業報告書及び決算に係る計算書類等の承認

(2) 第13回臨時評議員会〔令和7年3月31日〕

第1号議案 理事の辞任に伴う後任理事の補欠選任について

2 理事会

(1) 第23回通常理事会〔令和6年5月22日〕

第1号議案 令和4年度事業報告書及び決算に係る計算書類等の承認
について

第2号議案 理事長の職務代行に係る副理事長の順序の決定について

第3号議案 第12回定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項の
決定について

(2) 第24回臨時理事会〔令和7年1月23日〕

第1号議案 医療廃棄物処理事業の今後の運営について

第2号議案 廃棄物の処理料金の改定について

(3) 第24回通常理事会〔令和7年3月19日〕

第1号議案 令和6年度補正予算について

第2号議案 新たな施設の整備に係る資金計画の変更について

第3号議案 建設資金の借り入れについて

第4号議案 令和7年度事業計画書及び収支予算書等の承認について

(4) 第25回臨時理事会〔令和7年3月26日〕

第1号議案 第13回臨時評議員会の目的である事項の決定について